BOSE®

OWNER'S MANUAL

MULTIMEDIA SPEAKER SYSTEM

コンパニオン
Companion® 3

この度はボーズマルチメディアスピーカーシステム「Companion® 3」をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。本機を正しくお使いいただくため、ご使用になる前に必ずこの取扱説明書をよくお読みください。また、必要なときにご覧になれるように大切に保管しておくことをおすすめします。

※説明の便宜上、イラストは原型と異なる場合があります。

目　次

安全上の留意項目

ご使用前に、この「安全上の留意項目」をよくお読みになり、正しくお使いください。

絵表示について

この「安全上の留意項目」は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、いろいろな絵表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

警告　この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。

注意　この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が損傷を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示します。

⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。
図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

●記号は行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。
図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

△記号は注意を促す内容を告げるものです。
（左図の場合は指をはさまれないように注意）が描かれています。

警告		
警告	電源プラグをコンセントから抜け	●万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災、感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。 ●万一内部に水などが入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。 ●万一内部に異物などが入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
		●電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
	水場での使用禁止	●風呂場では使用しないでください。火災・感電の原因となります。
	使用禁止	●雷が鳴りだしたら、アンテナ線や電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。
		●表示された電源電圧（交流100ボルト）以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。 ●この機器を使用できるのは日本国内のみです。船舶などの直流（DC）電源には接続しないでください。火災の原因となります。 ●この機器に水が入ったり、ぬらさないようにご注意ください。火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。
		●万一、この機器を落としたり、キャビネットを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

警告		
		通風孔のある機器のみ ●この機器の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となります。この機器には、内部の温度上昇を防ぐため、ケースの上部や底部などに通風孔があけてあります。次のような使い方はしないでください。 この機器をあお向けや、逆さまにする。この機器を押し入れ、専用のラック以外の本箱など風通しの悪いところに押し込む。 テーブルクロスをかけたり、じゅうたん、布団の上において使用する。
		●電源コードの上に重いものをのせたり、コードが本機の下敷にならないようにしてください。コードに傷がついて火災・感電の原因となります。 ●この機器の通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。 ●この機器の上に花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器や小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合火災・感電の原因となります。
	分解禁止	●この機器の裏ぶた、キャビネット、カバーは絶対外さないでください。内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は販売店にご依頼ください。 ●この機器は改造しないでください。火災・感電の原因となります。
		●電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしないでください。コードが破損して、火災・感電の原因となります。 **ACアウトレット（電源コンセント）付き機器のみ** ●この機器のACアウトレットが供給できる電力は背面パネルに表示されております。接続する装置の消費電力の合計が表示されているW（容量）を超えないようにしてください。火災の原因となります。電熱器具、ヘアドライヤー、電磁調理器などは接続しないでください。また、供給電力以内であっても、電源を入れたときに大電流の流れる機器などは、接続しないでください。

注意		
		●調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。 ●窓を閉めきった自動車の中や直射日光が当たる場所など異常に湿度が高くなる場所に放置しないでください。キャビネットや部品に悪い影響を与え、火災・感電の原因となることがあります。 ●湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
		●電源を入れる前には音量（ボリューム）を最小にしてください。突然大きな音がでて聴力障害などの原因となることがあります。
		●万一の事故防止のため、この機器を電源コンセントの近くに置き、すぐに電源コンセントからプラグを抜けるようにしてください。
		●旅行などで長期間、この機器をご使用にならないときは安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。 ●お手入れの際は安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。
		●5年に一度くらいは機器内部の掃除を販売店などにご相談ください。機器の内部にほこりがたまったまま、長時間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、掃除費用については販売店にご相談ください。
		●濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。 ●電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。
		●移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、アンテナ線、機器間の接続コードなど外部の接続コードを外してから行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
		●お子様がポート（スピーカー開口部）に、手を入れないようにご注意ください。けがの原因となることがあります。
		●ヘッドホンをご使用になるときは、音量を上げ過ぎないようにご注意ください。耳を刺激するような大きな音で長時間続けて聴くと聴力に悪い影響を与えることがあります。

警告		
	禁止	●スピーカーコードの上に重いものをのせたり、コードが製品の下敷きにならないようにしてください。また、壁や棚などの間にはさみ込んだりしないでください。スピーカーコードを傷つけて火災の原因となります。
	注意	●スピーカー内部に金属片や異物などを落とさないでください。ショートや発熱などを起こし、火災の原因となります。
	指示	●スピーカーコードを熱器具の近くや直射日光のあたるところには近づけないでください。コードの被覆が溶けて、火災の原因となります。
	禁止	●スピーカーコードを人が通るところなど引っ掛かりやすい場所に這わせないでください。つまずいて転倒したり、スピーカーが落下し、けがや事故の原因となります。
	分解禁止	●<本製品>を分解したり改造しないでください。破損や火災の原因となります。
	指示	●発熱器具の近くや直射日光のあたるところには設置しないでください。そのような場所で使用しますと、火災の原因となります。

注意		
	禁止	●ぐらついた台の上や傾いたところなど不安定な場所は避けて置いてください。また、設置場所の強度は重みに耐えられるものにしてください。落ちたり、倒れたりして、けがや事故の原因となります。
	指示	●スピーカーを高いところに設置される場合には、作業が不安定になりますので作業には十分ご注意ください。けがや事故の原因となります。
	禁止	●定格を超える入力を入れた状態や長時間音が歪んだ状態で使用しないでください。スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。
	禁止	●高いところに設置される場合には、不意な衝撃に対して落下しないよう固定してください。固定しないまま使用しますと、落下し、けがや事故の原因となります。
	禁止	●取付金具をご使用になる場合は、ご使用になるスピーカーに対応しているボーズ社製の金具をご使用ください。他メーカーの金具や、対応外の金具を使用するとスピーカーの破損や落下のおそれがあります。

音のエチケット

●音量は時や場所に応じて適度な大きさに調整してください。特に、静かな夜間は小さな音でも通りやすいものです。

あなたが放送やCD、テープまたはビデオディスクやその他市販のソフトから録音や録画したものは、個人として楽しむほかは、著作権上、権利者に無断で使用することはできません。

スピーカーの防磁について

●マイクロキューブの防磁について

マイクロキューブは、防磁型になっていますのでテレビやモニターなどに近づけても、画面に色ムラなど影響が生じにくくなっていますが、まれに画面に色ムラなど影響が生じる場合があります。その場合はテレビやモニターからマイクロキューブを十分離し、テレビの電源を切り、15分から30分の間隔をあけてから再度テレビの電源を入れてください。テレビの自己消磁機能によって、正常な画面に戻ります。その後も、画面に影響が生じる場合には、マイクロキューブをさらにテレビから離してご使用ください。

●ベースモジュールの防磁について

ベースモジュール内部のスピーカーは、防磁処理が施されていませんので、テレビやモニターなどに近づけないでください。近づけると、画面に色ムラなど影響が生じる場合があります。その場合はテレビやモニターからベースモジュールを十分(約15cm以上)離し、テレビの電源を切り、15分から30分の間隔をあけてから再度テレビの電源を入れてください。テレビの自己消磁機能によって、正常な画面に戻ります。その後も、画面に影響が生じる場合には、ベースモジュールをさらにテレビから離してご使用ください。

特　長

◆パソコン、ポータブルCD・MDプレーヤー、メモリー・HDDミュージックプレーヤーを接続して映画や音楽を楽しめる

Companion® 3は多彩な使用方法であなたのオーディオライフの楽しみを広げます。パソコンにつなげば、CD、DVD、MP3、インターネットラジオ、ゲームの音声など多彩なソースを楽しめ、さらに外出先で大活躍のポータブルミュージックプレーヤーも、自宅でCompanion® 3につなげば、パーソナルな空間を上質なオーディオサウンドで満たします。最近市場でも盛り上がりを見せるTVチューナー内蔵の総合エンターテインメントPCや薄型テレビとぴったりの相性です。

◆ミドルフィールドリスニングに最適化したTrueSpace® ステレオを搭載

ボーズ独自技術のTrueSpace® ステレオは左右のマイクロキューブの外側にステレオイメージを広げて空間印象豊かに再生。デスクトップに限ったニアフィールドだけでなく、3mくらい離れても十分に楽しめるミドルフィールドリスニングに対応しているので、12畳から18畳程度のリビングでのオーディオとしても十分ご使用いただけます。

◆新開発の超小型マイクロキューブはデスクトップでも邪魔にならずにしかも高音質

50mm口径のドライバー採用のマイクロキューブは超小型で軽量、さらに防磁仕様なのでモニターやフラットパネルにも簡単に専用の付属ブラケットで取付け可能。デスクトップやディスプレイ周りに邪魔にならずすっきりとおさまります。

◆斬新なデザインで繊細な機能性を持つコントロールポッド

円形を基調とした斬新なデザインのコントロールポッドはシンプルでありながら多機能。中央のアルミ部分はタッチセンサーでミュートのオン、オフ、周囲のラバーリングを回転させることでボリュームコントロール、さらに外部入力端子とヘッドホンジャックを備え、コンパクトでありながら多機能なインターフェースです。

◆13cm口径のウーファーを収納した新開発小型ベースモジュール

デュアルボイスコイルの13cm口径のウーファー1本を収納、わずか14リットルの内容積では異例ともいえる低音再生が可能。低音は指向性がないという特長から、このベースモジュールはデスク下の床など隠して設置することもできるので邪魔になりません。

◆ボーズ独自のP.A.P.回路、コンプレッション回路、R.A.C.回路、アクティブEQ回路搭載

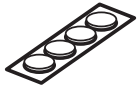
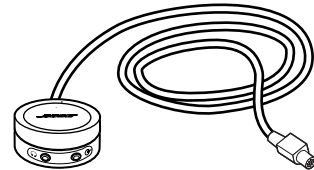
ボーズ独自技術P.A.P.回路、コンプレッション回路、R.A.C.回路、アクティブEQ回路が満載。これらの回路は個々に作動するのではなく、プロセッサー技術により統合制御。システムインテリジェント制御により、システム全体の状況をリアルタイムでモニターし、あらゆるレベルの音量でも歪みのない再生を可能にしています。

本体のお手入れについて

通常は、柔らかい布でから拭きしてください。汚れがひどいときには、中性洗剤で水を薄めた液に柔らかい布を浸し、よく絞ってから汚れを拭き取り、その後乾いた布で拭いてください。シンナー、ベンジン、アルコール、化学薬品を使用すると表面が侵されたり、文字が消えたり外装ムラになることがありますから絶対に使わないでください。また、スプレー式の殺虫剤や消臭剤、芳香剤などもかからないように御注意ください。

開梱時のご注意（付属品について）

箱や梱包材は、後日修理メンテナンス等が必要になった場合のために処分せずに保管しておくことをおすすめします。

付属品を確認してください。

もし、開梱時に損傷などが発見された場合や内容物が不足しているときは、そのままの状態を保ち、ただちにお買い上げになった販売店までご連絡ください。そのままでの使用はおやめください。

各部の名称

ベースモジュール

〈前面〉

グリル

〈背面〉

Bass調整つまみ

左チャンネル
マイクロキューブ用
出力端子

右チャンネル
マイクロキューブ用
出力端子

コントロールポッド用
端子

ポート

電源入力端子

電源スイッチ

マイクロキューブ

〈前面〉

グリル

〈背面〉

ブラケット取付用
埋込ナット

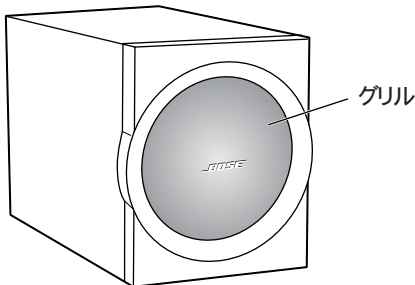
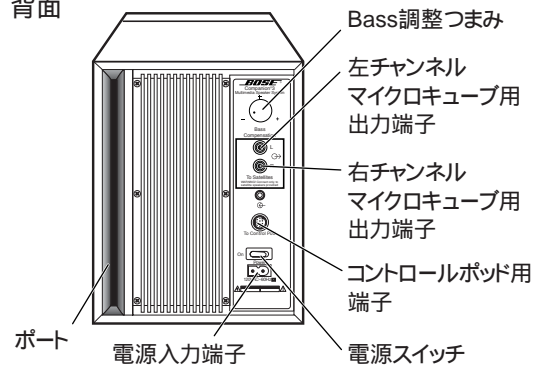
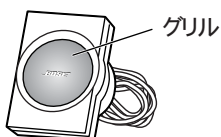
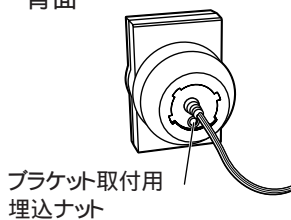
コントロールポッド

電源スタンバイ/オン
インジケーター

タッチ式
ミュートスイッチ

回転ボリューム

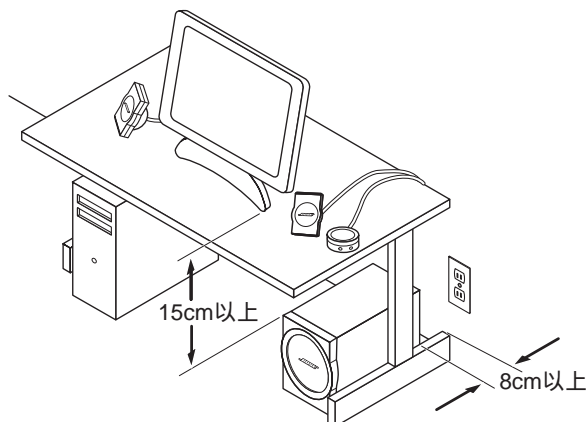
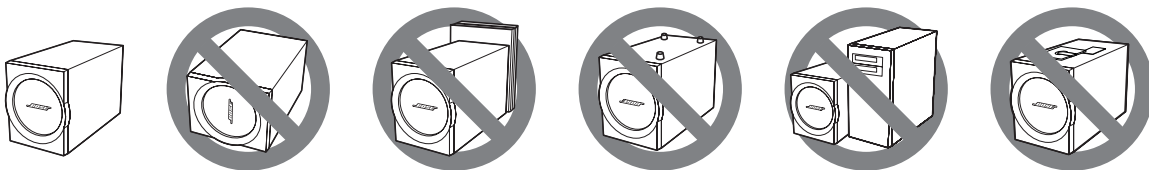
ヘッドホン端子

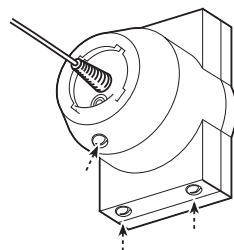
外部音声入力端子

設置方法

ここに示しました設置のガイドラインは、製品の性能を最大限に活かして、より広い空間印象をお楽しみいただくためにお勧めするものです。これを参考に、ご自分のお好みやお部屋の状況に応じて、より良い設置場所を探して頂いても構いません。

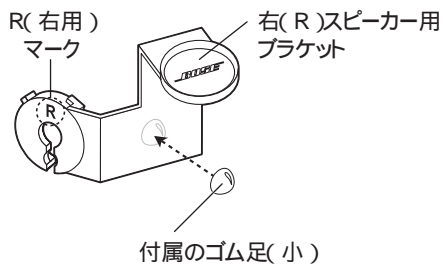
ベースモジュールの設置位置

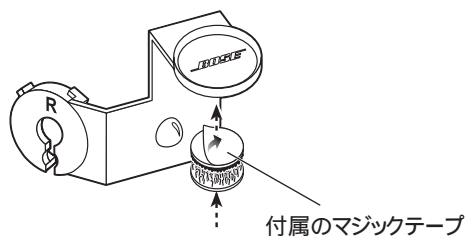
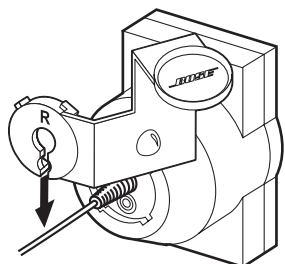
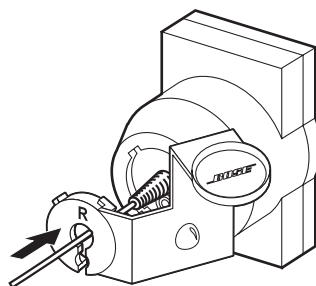
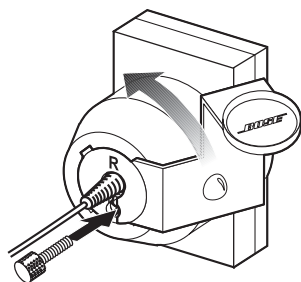
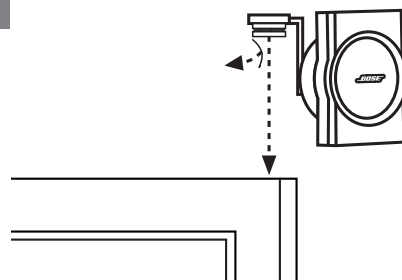
次のことを確認してください。

- ベースモジュールに接続するケーブル類が届く範囲であること。
- ベースモジュールは非防磁型のスピーカーなので、ブラウン管を使用しているコンピューター用モニターやテレビは画面に影響を与えないように15cm以上は離れていること（機種とブラウン管のサイズによって異なります）。
- ベースモジュールは音が出る前面部分を塞がないように、効率よく低音エネルギーが得られるように、グリル部分を部屋に向けるか、壁に沿うように設置します。
- ベースモジュール後部のポート部分を塞がないように、壁までの距離を8cm以上離してください。
- ベースモジュールの設置する位置が決まったら、底面の4すみに付属のベースモジュール用ゴム足をつけます。安定感を高め、床に傷が付くのを防ぎます。

⚠ 注意　ベースモジュールは防磁処理がされていません。そのため、コンピューター用モニター、フロッピーディスク、外付けハードディスク、その他磁気による記録媒体から必ず15cm以上離して設置してください。ベースモジュールに直接あるいは近接した場所に保管すると内容が消えたり、再生できなくなる場合があります。

マイクロキューブの設置について

- コンピューター用モニターやテレビの両脇にスピーカーを設置します。画面の端からそれぞれ90cm以内に設置することをおすすめします。ベースモジュールとマイクロキューブの距離は、スピーカーコード（2.4m）の届く範囲内に設置してください。
- ディスクの上に置いてご使用になる場合は、安定性をよくするために付属のゴム足（小）を右図のように貼り付けてください。付属のアダプターをご使用になってモニター等に固定する場合は、8ページをご覧ください。

♪ 注意　マイクロキューブは、コンピューター用モニターやテレビの近くに設置しても画面に影響がでないような防磁型を採用しています。

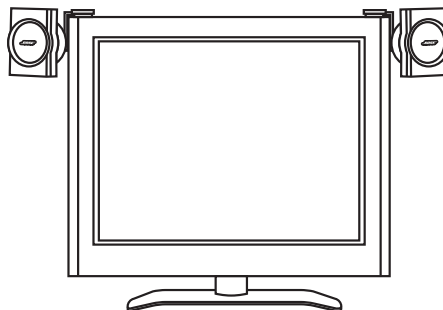
付属ブラケットの使い方

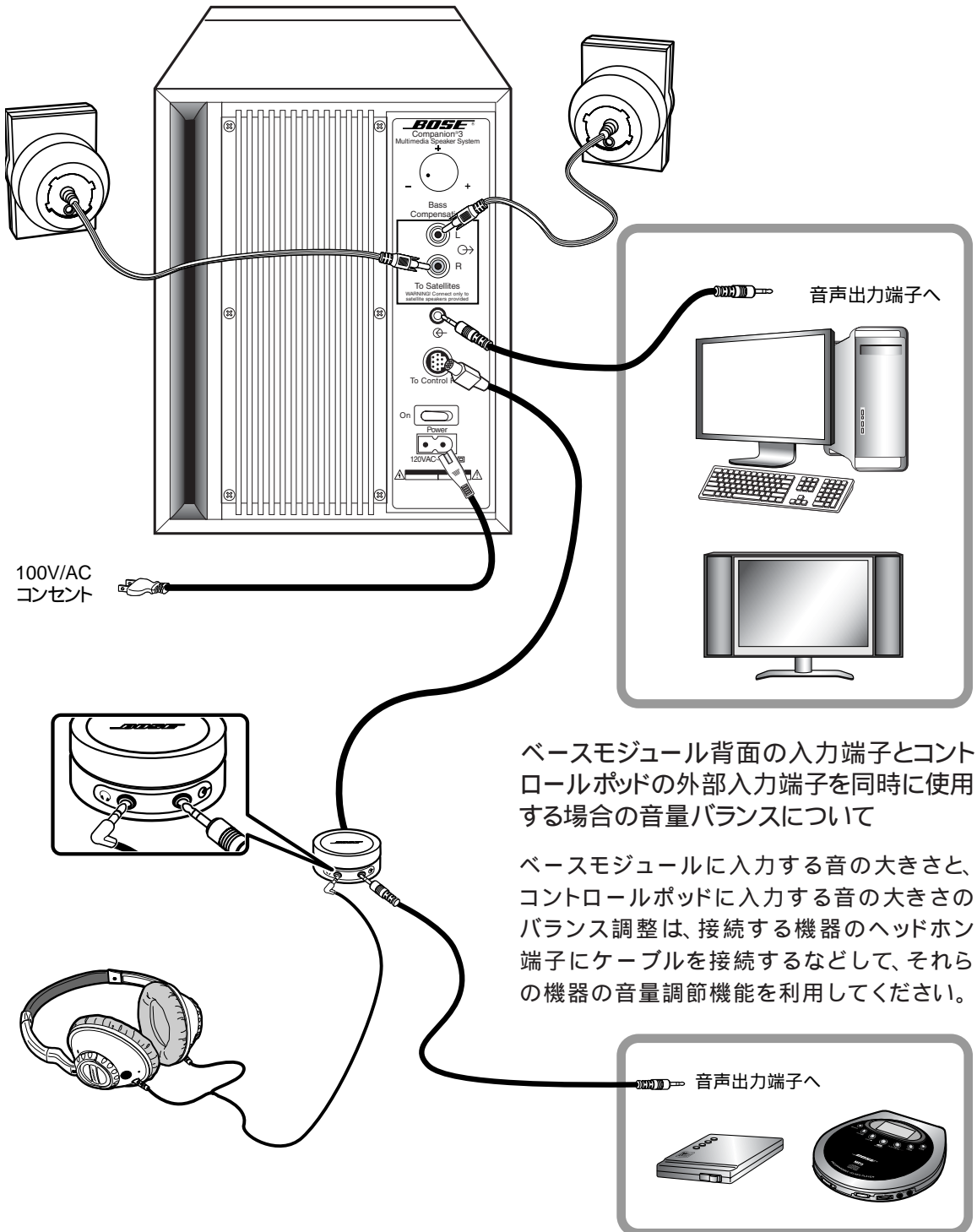
1

⚠ 付属のブラケットには左右の区別がありますので、L（左用）またはR（右用）のマークを確かめてから取り付けてください。

2

3

4

5

6

⚠ ブラケットを取り付けるモニター等の上端隅が少なくとも22mm以上水平な部分があり、側面と直角に面していることを確認してください。

7

左（L）スピーカーも 1 ～ 6 と同様の手順で取り付けます。

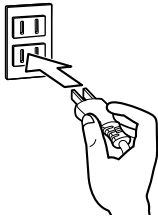
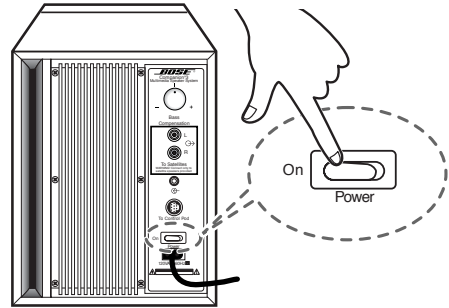
8

外部機器との接続のしかた

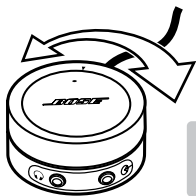
※すべての接続が終わるまでは、電源ケーブルをコンセントに差し込まないようにしてください。
※電源を入れる前は、必ずコントロールポッドの回転ボリュームは、反時計方向に回して最小の位置にしておいてください。

●ベースモジュール背面の入力端子とコントロールポッドの外部入力端子を同時に使用する場合の音量バランスについて

ベースモジュールに入力する音の大きさと、コントロールポッドに入力する音の大きさのバランス調整は、接続する機器のヘッドホン端子にケーブルを接続するなどして、それらの機器の音量調節機能を利用してください。

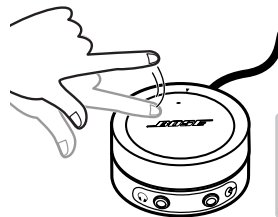
電源ON/OFFと音量調整および使い方

※すべての接続が終わるまでは、電源ケーブルをコンセントに差し込まないようにしてください。
※各機器の接続にまちがいがないか、もう一度確認してください。
※電源を入れる前は、必ずコントロールポッドの回転ボリュームは、反時計方向に回して最小の位置にしておいてください。

電源ケーブルをコンセントに差し込んでください。

■電源のON/OFFのしかた

■音量調節のしかた

回転ボリュームを、時計方向に回すと音が大きくなります。反時計方向に回すと音が小さくなります。

完全に音を消す場合は、ミュートを行います。

■ミュートのON/OFFについて

中央のアルミ部分に触れるとミュート(一時的消音)になります。ミュートを解除する場合は、もう一度中央のアルミ部分に触れてください。

ミュート時はインジケーターがオレンジ色に、ミュート解除時は緑色になります。

■低音調節のしかた

つまみを時計方向に回すと低音の量が多くなり、反時計方向に回すと低音の量が少なくなります。

故障かな？と思ったら

症　　状	処　　置
音が出ない	•接続が適切に行われていることを確認してください（P9）。スピーカーコードがしっかりとベースモジュールに接続されていることを確認してください。 •電源ケーブルがベースモジュールと壁コンセントにしっかりとつながれていることを確認してください。 •スピーカーコードが断線していたり、被覆が切れて中の線がショートしていないかを確認してください。 •音源となる機器が間違いなく接続されていて、その音源の信号レベルが低すぎないことを確認してください。 •電源をONにしていることと、ミュートを解除してあることを確認してください。ミュートが働いているときは、コントロールポッドのインジケーターがオレンジ色になっています。インジケーターが緑になるようにコントロールポッドの上を軽く触れてミュートを解除してください。
片方のスピーカーしか鳴らない	•すべての部分の接続を確認します（P9）。プラグが完全に差し込まれていることを確認した後、音源をチェックします。もしモノラル音源ならば、音が両方のスピーカーからでるようにモノ→ステレオ変換アダプターを別途購入してご使用ください。
音が歪んでいる	•音源からの出力レベルを下げて、コントロールポッドのボリュームをあげます。
マイクロスピーカーから音が出ない、あるいは歪んでいる	•すべての部分の接続を確認します（P9）。 •左右のマイクロキューブを入れ替えてみます。もし、同じチャンネル（右または左）が同じ症状ならば、音源かベースモジュールに問題があります。症状が現れるチャンネルが変わった場合は、マイクロキューブに問題があります。 •音源かベースモジュールに問題がある場合は、音源を別のもの（ポータブルCDプレーヤーなど）に変えて、音量も調整してみてください。正しく再生できた場合は音源に問題がありますので、音源の機器を交換してください。症状が変わらない場合は本機に問題がありますので、サービスセンターまでご連絡ください。 •音源の左右のバランスを調整してください。

故障の場合のお問い合わせ先

故障および修理のお問い合わせは、

ボーズ・サービスセンター株式会社　　フリーダイヤル 0120–235–250

住所 〒206-0035 東京都多摩市唐木田1-53-9 唐木田センタービル

製品等のお問い合わせは、

ボーズ株式会社・インフォメーションセンター　　☎03–5489–0955

までご連絡ください。

仕　様

■総　合

方　　　式	アンプ内蔵スピーカーシステム
定格出力	18W×2（マイクロキューブ） 60W×1（ベースモジュール）
カ　ラ　ー	シルバーとブラックのツートンカラー
付　属　品	ブラケット×2、ブラケット用ネジ×2、 オーディオ入力ケーブル×2、ゴム足（小）×8、 ベースモジュール用ゴム足×4、 ブラケット用ベルクロテープ×4、電源ケーブル（2.3m）×1

■マイクロキューブ（防磁型）

ユニット構成	50mmドライバー×1
外形寸法	65.3（W）×91（H）×61（D）mm
質　　　量	215g（コード込み）
コードの長さ	2.4m

■ベースモジュール（非防磁）

ユニット構成	13cmウーファー×1
外形寸法	184（W）×217（H）×351（D）mm
質　　　量	6.7 kg

■コントロールポッド

外形寸法	φ62.5×28（H）mm
質　　　量	200g（ケーブル込み）
ケーブルの長さ	2.3m

保　証

保証の内容および条件は付属の保証書をご覧ください。

ボーズ株式会社 | http://www.bose.co.jp/
〒150-0044 東京都渋谷区円山町28-3 渋谷YTビル　TEL03-5489-0955

●仕様及び外観は改良のため予告なく変更することがあります。
●弊社の以外の製品については、保証の責任を負いかねますのでご注意ください。

OM-1290
06・06-2K-E・1（I-M）